

説明会開催にあたり、みなさまからお寄せいただいた質問にお答えしています。

Q

今年初めて、1学年全員での参加を検討しています。講演くださった学校や過去の入選校などはモチベーションの高い子が多いと思うのですが、あえて学年全体で参加する場合に想定される様々な困難について、アドバイスをいただきたいです。

A

山本先生

絶対に“頑張る生徒”と“そうじゃない生徒”に分かれるので、そこをうまくバランスをとるようにチーム分けをする。またそれぞれのチームで役割分担ができているかを確認するという点は、介入する必要があるのかなと考えています。

A

宮越先生

スケジュール管理。「いつまでにこれをやっておく」というのは、先生の方で管理する必要があるのかなと思います。

Q

データや数字を用いたスクリーニングの方法を生徒に指導するときのコツはありますか。

A

村宮先生

スクリーニング等を行うときに、いきなり複雑なことをするのは難しいので、最初は例えば「5社の中から(何らかの指標で)1社選ぶ」など小さなおところからスタートし、「3000社の中から100社選ぶ」と規模感を広げていくことによって、より実践的なスクリーニングができるのかなと思います。

説明会開催にあたり、みなさまからお寄せいただいた質問にお答えしています。

Q

レポートテーマを決める上で大切なポイントは何でしょうか。

A

山本先生

一番気にしているのは「面白いか」です。

調べたことをそのまま載せてテーマにしても、審査員にとっては既知なことなので、そこを先読みして、「どれだけ独自性があるか、読んでいて続きが読みたくような感覚にさせられるか」ということ。

その際特に意識しているのは、生徒自身が持っている、リアルな、切実な問題関心とどれだけ結びついているかということだと私は考えています。

A

宮越先生

テーマはそれぞれの生徒たちが興味のあるものを色々出してくるのですが、単に「美味しいもの」というテーマで食べ物の会社を並べただけでは、レポートとしては面白くありません。「口内炎ができれば美味しくくないんじゃない?」といった生徒の一言から、「じゃあこっちの方向にもっていったらどう?」という風なアドバイスをし、それをきっかけとして、良いテーマに繋がっていくのではないかと思います。

A

村宮先生

どうしても学生達から最初に出てくるアイデアは「全て揃っている素晴らしい企業、良い企業」だけを選びがちなので、一つのテーマをポイントで押さえて、そのテーマでしっかりやろうということは、最初に強く伝えているところです。

またどうしても、テーマが過去に“良いレポート”として表彰されたものと似てくることはよくあるのですが、そこで「オリジナリティが無い」と諦めるのではなく、ある他のアイデアと組み合わせることで、本当にオリジナリティのある、新規性の高いテーマとして出せることもあるので、一つのアイデアに固執するのではなく、そのアイデアと何らかのアイデアとを組み合わせることも重要だということは常々伝えています。

説明会開催にあたり、みなさまからお寄せいただいた質問にお答えしています。

Q

夏休み中や冬休み中、モチベーションをどのように保っていましたか。
長期休みの間、生徒の学習をどのようにご指導していらっしゃいましたか。

A

山本先生

夏休み中はメールでやり取りをしていました。
生徒からテーマの提案をうけて、それに応える。「こんな本を読むと良いよ」など紹介することもあります。
生徒がチームで何をしているかまでは把握していませんが、とにかく一度決めたテーマを何度も練り直すというのが夏の期間だと思っているので、そういう作業をしています。

A

宮越先生

夏休みはフィールドワークの絶好の機会です。平日でないと企業訪問ができないので。ただ行きっぱなしではなく、帰ってきたら必ず報告書を書かせるようにしています。

司会
からの

Q

その報告書は生徒から先生に出すのですか？

A

宮越先生

そうです。聞いてきたことを忘れないように必ずまとめさせています。

Q

生徒に企業インタビューの方法を教えるにはどのようにしたら良いでしょうか。

A

宮越先生

インタビューの仕方を教えるということはないのですが、事前に「どんなことが聞きたいか」というのは必ずあげさせるようにしています。
企業の方も先に欲しいという場合もあるので、事前にお送りして、その場で回答していただくこともあります。

説明会開催にあたり、みなさまからお寄せいただいた質問にお答えしています。

Q

応募はしたけれどレポートは完成できなかった、というケースでもしょうがないもの
でしょうか。

A

是非レポートを完成していただきたいと思いますが、そこまでの過程でも考える
力はつくはずです。達成感のためにもぜひ最後まで頑張ってください！

Q

学業と部活、そしてこの日経STOCKリーグとの両立はどのようにすればよいか、ア
ドバイスをいただきたいです。

A

学生は宿題や部活動で日常生活も多忙であるので、限られた時間で効率的に
STOCKリーグの活動を進めていくことが大事だと思います。レポートの提出締切
(2023年1月10日)が決まっているので、そこから逆算して計画的に進めていきま
しょう。冬休みは最後の見直し期間、より自分たちで納得できるものに仕上げていき
ましょう。

